

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	傷病者接触後、CPA事案で現場活動時間に22分間を要した。
3. 体験した事例の中心的要素	胸痛と呼吸苦を訴えた本人からの救急要請で、5時14分に傷病者に接触、車内収容し5時17分にCPAとなり、CPR開始と応援隊を要請し収容先医療機関に特定行為の指示要請をとり現場活動を行った事例で、応援隊到着まで現場で待機し、現場で救命処置と傷病者情報の入手に時間を要した結果、現場活動時間が22分となった。
4. 体験した事例の原因・理由	・応援隊到着まで3人で対応しなかったこと ・現場処置を優先したこと ・傷病者情報が入手困難であったこと ・静脈路確保が成功しなかった

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった
------------------	-------------

【体験した事例について】

1.	発生日時	平成25年7月5日 午前5時頃
2.	発生した当時の天候	雨
3.	発生した活動現場	屋外：救急車内
4.	体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5.	事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重症の怪我をしていた(させていた)だろう
6.	どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	
7.	事例体験時の活動	救急
8.	(7の活動中)どのような作業中に発生したか	救命処置と傷病者情報の入手
9.	同様の体験は、これまでにどの頻度で体験していますか	初めて体験した

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境や、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--